

産業情報いわて

VOL. 137

月刊 2013年12月号



【支援企業紹介】

株式
会社

東北TKR

◎P2

高度な技術力と 生産力で「次の一手」を打つ



いわて復興展示商談会 ◎P4

新素材・加工産業化研究会 ◎P5

HOSPEX Japan 2013 ◎P6

北東北3県域アパレル企業
ビジネスマッチングフォーラム ◎P7

設備貸与制度 ◎P8

いわて異業種交流討議会 ◎P8



①工場内は「実装部」と「製造部」に分かれる。写真の製造部は大手メーカーのカーナビの組み立てほか4ライン体制。
 ②製品の信頼度を左右する検査工程。先進の画像認識装置ほか目視による検査も行い、二重三重のチェック体制を敷く。
 ③④プリント基板の製造を行う「実装部」は5ラインで24時間態勢。
 ⑤カーナビの組み立てライン。音質チェック、SDカードへの書き込みなどの最終工程を経たのち梱包、発送される。
 ⑥⑦⑧ハイエンド一眼レフカメラの心臓部・ペンダ部分の組み立ては温度を管理したクリーンルーム内で行われている。
 ⑨小型のユビキタス端末は同社初のオリジナル製品。浜松科学館(静岡県)、遠野市観光協会など県内外で使われているほか新規導入の問い合わせも増えている。

高度な技術力と生産力で「次の一手」を打つ

昭和47年に県の誘致企業として紫波町に立地した株式会社東北TKR。カーステレオの製造から始まり、現在はカーナビなどの車載機器をはじめ各種基板、IT機器から産業機械等、生産品目は多岐に渡る。その一方で大学との共同開発から自社製品を開発するなど、新分野へも果敢に挑戦している。舵取り役の安部政巳社長が考える展望、その根底にある思いとは。

部品調達から組立まで一貫体制 様々な工業製品を製造して40年

カーステレオからカーナビゲーションへ、またはコンパクトカメラからデジタル一眼レフへ——。家電や車載機器等々、工業製品の変遷はスピーディーかつめまぐるしく、その度に登場する新機能やサービスが日本のものづくり産業の隆盛を支えてきた。

「当社も、時代の流れとともに変わる顧客の期待に応えるべく技術力や生産力を高めてきた。その積み重ねは今後、どんな製造分野に取り組む際でも役立つと思っています」。実績に裏付けられた信念が、代表取締役社長の安部政巳さんの言葉に滲む。本県の誘致企業として紫波町に製造拠点を構え

て約40年、カーステレオの生産から始まった株式会社東北TKRは、まさに日本製造業の趨勢とともに変化を遂げてきた企業である。

あらゆる製造品目に対応できるのは、当社が部品調達から基板実装、そして完成品の組立までの一貫生産体制を整えているからだ。各種プリント基板の実装は月産9,500万点の生産能力を有し、X線検査装置などの導入で品質管理も徹底。精密機器組立に対応したクリーンルームも設置されている。当然メーカーの信頼は高く、現在は市販用高性能カーナビやデジタル一眼レフをはじめ各種カーオーディオ、赤外線通信システム等々、生産品目は驚くほど多い。「注文書1枚でもものづくりが出来るのが当社」と、営業グループ長の大滝一秋さんも胸を張る。

自社製品開発、産学官連携は 厳しい企業環境を生き延びる術

このように、技術力・生産能力ともに高い評価を受けている同社ではあるが、安部社長は「次の一手」への準備を怠らない。

主力生産品目のカーナビでもより品質基準の厳しいディーラーオプションへの挑戦を始めているが、なにより大きなトピックスは2年前、岩手県立大学との共同研究成果として発売された小型のユビキタス端末だろう。赤外線を受信した写真や動画・音声を再生、様々な情報提供に使えるガイドシステムは、同社初のオリジナル製品として話題を呼んだ。すでに県内外への納入実績はあるが、「拡販はこれから」と安部社長。端末は博物館などの公共施設で使われる事例が多く、震災からの復興が加速する今後がチャンスと考えている。そのためにも欠かせないのが関係機関との連携という。

「設計開発や販売など、我々が持っていないノウハウは産学官連携で得られる。もちろん当社も情報コンテンツはじめ、新しい事柄を学んでいかなければなりません」。

各種商談会や改善研修会など当センターの事業も積極的に利用し、5年ほど前からは医療機器事業化研究会へも参加。本誌先月号で紹介した株式会社アイカムス・ラボの電動ピペットにも、同社製のプリント基板が搭載されている。さらに岩手大学ほか県内企業4社、紫波町と発足した「紫波町新技術研究会」も始まるなど新事業への意欲は高く、その準備が着々と進められている。

工場の海外移転により苦戦を強いられている国内製造業界。東京に親会社を持つ同社も例外ではなく、現在の顧客の9割は独自に営業活動を続けてきた成果という。「その意味で『親離れ』が早かったのが幸いている」と安部社長。アグレッシブな企業姿勢は、生き延びる力の強さにほかならない。



40年の歴史で培ってきたものが信頼の要に!

岩手に立地して約40年、様々な製造を通して培ってきた技術と人材が、大手メーカーから評価される品質の高さに繋がっています。確かに地方ならではのコストはありますが、それもクリアできる実力を持った従業員が当社には大勢います。

代表取締役社長 安部政巳



会社名 株式会社東北TKR
 本社 紫波郡紫波町南日詰字箱清水50-1
 電話番号 019-676-2311
 代表者 安部 政巳
 創業 昭和47年(1972)9月
 従業員 197名
 業種 カーナビゲーション、カーオーディオ、電子交換機用パッケージ、デジタルカメラ、情報通信機器等の組立、各種プリント基板の実装
 URL http://www.tkr.co.jp/



【支援企業紹介】紫波町 株式会社東北TKR





～いわて復興展示商談会～ 〈岩手県新技術・新工法展示商談会inHITACHI〉

10月25日(金)10:00～17:00に岩手県、当センター主催、(株)日立製作所の共催により～いわて復興展示商談会～「岩手県新技術・新工法展示商談会 in HITACHI」を(株)日立製作所 東お茶の水ビル2F大ホール(東京都千代田区)で開催しました。

(株)日立製作所は、情報通信・自動車・再生可能エネルギー・医療機器・建設機械等多くの事業部門を有する総合電機メーカーで、展示商談会は、県内企業の持つ新技術・新工法の紹介パネル及び製品を展示し、日立グループ各社等に新たな設計開発や調達先選定などの検討に活かしていただくことを目的とし開催しました。

鋳造・切削加工:5社、素材・部品:3社、表面処理:3社
樹脂・ゴム・金型:6社、装置・完成品:2社、板金・プレス:4社
接合:4社、組込みソフト・ハード:5社、その他:2社 の計34社が参加(岩手県単体の展示商談会としては最大規模)。

雨模様の天気でしたが、当日の来場者は835名を数え日立グループ各社の注目度も高かったことがうかがえました。

出展企業へのアンケートの結果*、名刺交換数は971件・有望案件については84件あり今後、新規取引の成約が期待されます。また、岩手県・(株)日立製作所と情報共有の上、フォローを図って参ります。

***アンケート結果(抜粋)**
(1) 今回の展示商談会に出展での満足度(5点満点)
(2) 大手メーカー向けの展示商談会は効果的か(5点満点)

業種	(1)	(2)
鋳造/切削加工	4.4	4.2
素材/部品	5	4
表面処理	3.3	3.3
樹脂/ゴム/金型	3.8	4
装置/完成品	5	4
板金/プレス	3	3.3
接合	4.5	3.8
組込みソフト/ハード	4	3.8
その他	5	4.5
平均	4.1	3.9



10月22日(火) ホテルルイズを会場に 第1回「新素材・加工産業化研究会」 が開催されました。

これまで、当センターでは国・県の事業・制度を活用し、高機能性・高生体適合性のコバルト合金の研究開発と製品化に取り組み、地域の新たな産業の芽として、材料安定供給体制の確立や材料の規格化、応用製品の事業化等の実績を上げて参りました。本研究会は、この「いわて発」高付加価値コバルト合金のブランド化・クラスター形成への取組みを継続するため、岩手県が新たに厚生労働省より採択を受けた、「新素材・加工産業の振興を通じた雇用創造プロジェクト」の地域マネジメント強化メニューの柱として開催したものです。

高付加価値コバルト合金の創製者である東北大学の千葉晶彦教授の講演など、新素材・加工産業の裾野の広さ可能性を大いに感じ得る研究会となりました。当日は34社の企業様のご参加をいただき、全体の参加人数は、産学官合わせまして104名と非常に有意義な研究会となりました。

本研究会は年に2回程度の開催を予定しており、次回開催は来年2月21日(金)を予定しております。



新任 アドバイザー・ コーディネーター 紹介

センターに新たに勤務するアドバイザー、
コーディネーターをご紹介します。



技術経営アドバイザー
杉本 榮

40年メーカーで特殊合金の製造や販売に携わって来ましたが、縁があって9月より当プロジェクトの一員になりました。今まで培ってきた経験・技術を活かせる分野でもあり幸いに思います。よろしくお願いたします。



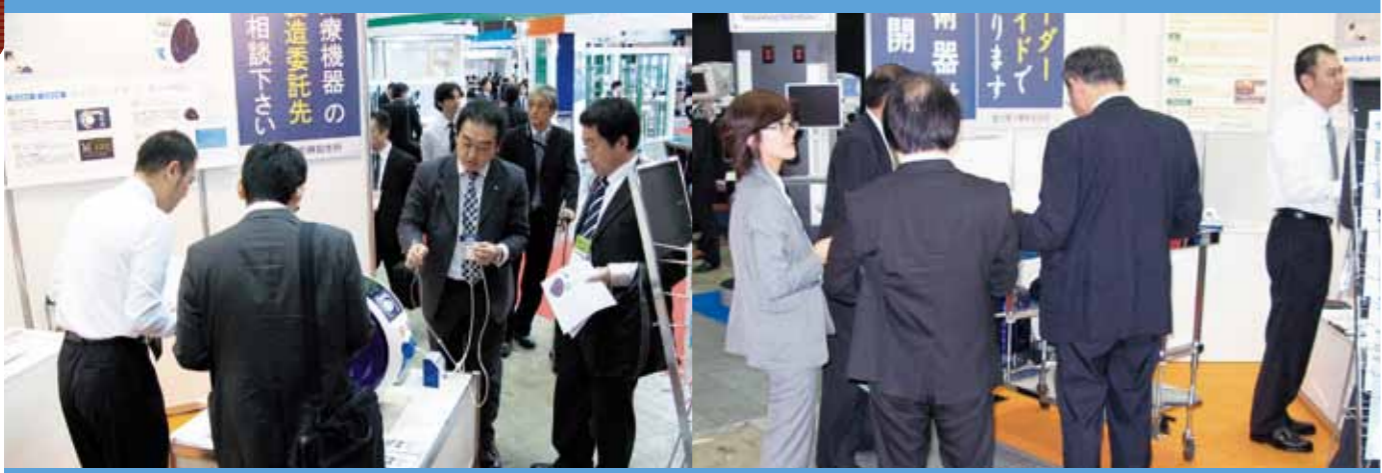
連携支援コーディネーター
杉山大樹

中小企業エンジニアの立場で企業間および産学間の共同研究・製品開発に携わってきました。コーディネーター業務は初めてですが、企業の皆様方における新素材開発から事業化のお力となれるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。



HOSPPEX (第42回日本医療福祉設備学会併設展示会) 共同出展しました

ホスベックスジャパン Japan 2013



平成25年10月23～25日の3日間東京都のビッグサイトで開催された、日本医療福祉設備学会併設展示会「HOSPPEX Japan 2013」に、岩手県内企業2社との共同出展の形で1小間を確保し、出展しました。

この展示会は、医療機器製造技術者や医療従事者に対し、大手医療機器メーカーを始め、医療機器産業分野への参入を目指す企業等が、自社製品や優れた加工技術などの幅広い展示を行い、新規顧客獲得や販路開拓を目的として開催しているもので、今回は3日間で延べ58,055人(前年度56,906人)の来場者を数え、製品に対する質疑応答など、会場のいたるところで名刺・情報交換、商談が行われておりました。

岩手県からは、いわて医療機器事業化研究会会員企業2社の参加を得て、自社の製品を工夫を凝らして展示していました。

また、いわて医療機器事業化研究会の活動内容等も紹介し、試作開発医療機器の販路開拓や固有技術を活用した医療機器関連の受注拡大の一助となった展示会でした。

共同出展企業名	出 展 品
(株)新興製作所 (花巻市)	在宅医療向け医療用酸素濃縮装置「エアリーライフ爽」
富士善工業(株) (北上市)	手術器材展開台(オーダーメイド製作)

経済産業省からのお知らせ 工業統計調査

経済産業省では、工業統計調査を平成25年12月31日現在で実施します。本調査は、製造業を含む事業所を対象に、1年間に生産活動に伴う製造品の出荷額、原材料使用額などを調査し、製造業の実態を明らかにすることを目的としています。

本調査は、国の重要な統計調査であり、調査結果は国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として使われるほか、大学や民間の研究機関等においても広く利用されています。

調査をお願いする製造事業所には、本年12月中旬から来年1月にかけて統計調査員が調査票を持って伺うか、または国から直接郵送でお届けいたしますので、お忙しい時期とは存じますが、調査にご理解いただきますようお願いいたします。

なお、皆様からご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

北東北3県域 アパレル企業 ビジネスマッチングフォーラム

当センターではこの度、北東北3県のアパレル関連のものづくり企業の交流促進と、首都圏等発注企業との取引の活性化を図るため、標記フォーラムを開催することといたしました。

平成22年度から数えて4回目の開催となり、参加企業数も年々増加しております。自社をアピールする場として、本フォーラムへのご参加をぜひご検討願います。

開催日 | 平成26年2月6日(木) 13:00～18:45(交流懇親会17:15～)

開催場所 | 二戸パークホテル (岩手県二戸市福岡字八幡下69-1 ☎0195-23-5151)

- 参加対象** 岩手県、青森県、秋田県のアパレル関連のものづくり企業
首都圏等のアパレル製品製造の発注企業
- 開催内容** (1) 受注企業各社による自社紹介(各社1分程度)
(2) ビジネスマッチング(個別面談) ※事前に名簿を送付し、マッチング希望を確認します
(3) 交流懇親会(出席者全員にご参加をお願いします)
(4) 展示コーナー(北東北3県企業がサンプル等製品を展示するコーナーを設置)
- 参加料** 北東北3県企業=1名につき5,000円(当日申し受けます)
首都圏発注企業=無料
- 申込締切日** 平成26年1月10日(金)
- 主催** 岩手県北広域振興局、(公財)いわて産業振興センター
- 共催** 青森県、秋田県、(公財)21あおり産業総合支援センター、(公財)あきた企業活性化センター、三圏域連携懇談会(二戸市、久慈市、八戸市)、県北ものづくり産業ネットワーク、鹿角市、大館市(予定)

お問い合わせ (公財)いわて産業振興センター 産業支援グループ(担当:高館) TEL:019-631-3823

賛助会員制度のご案内

センターでは、活動にご賛同いただける「賛助会員」を募集しています。さまざまな特典を用意していますので、入会をご検討ください。



- **企業信用情報の代行検索・料金割引**
(※年間3件まで無料、4～15件は一定額を割引)
- **ビデオライブラリーの送料負担**
(※センターからの送料を負担します。返送料はご負担いただきます)
- **「いわてものづくりアカデミー」受講料2割引**
(※今年度は終了しました。詳しくはWEBサイトをご覧ください)



お問い合わせ | 産業支援グループ ☎019-631-3823 FAX019-631-3830
http://www.joho-iwate.or.jp/sanjo

設備貸与制度のご案内

利率を引き下げました!

長期 5年~10年

低利 年1.65% (*昨年度より0.3%引き下げました)

無担保 金融機関の借入枠とは別枠です



区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)
貸付期間	原則5年または7年	原則5年または7年
貸付限度額(消費税含む)	100万円~8,000万円	100万円~8,000万円
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(車輛を除く)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)	—
利息(貸与損料)リース料	年1.65%	5年=1.822% 7年=1.346%
連帯保証人	法人:代表者含み2人以上	個人1人以上

以下のいずれか1つの条件を満たせば、

最長10年、1億円まで貸付可能です。(リースは除く)

- (1) 経営革新計画の承認企業
- (2) 異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
- (3) ISO9000/ISO14000の認証取得企業
- (4) 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- (5) 県内企業5社以上へ下請発注している企業
- (6) 県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
- (7) 申請する設備を設置することで(4)~(6)に該当する企業でも可

東日本大震災で設備または事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

最長10年、据置期間2年利息1.55%で貸付可能です。

※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

★貸与損料、リース料引き下げは、平成25年4月以降受付した分からの適用です

お問い合わせ | 総務・金融グループ ☎019-631-3821 FAX019-631-3830 <http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

次世代の中小企業経営者等による異業種交流グループ「いわて異業種交流討議会」の活動について

通称「いいこと」

岩手県における次世代の中小企業経営者のネットワークを強化し、企業間の連携による新たな事業活動への取組みを促進するため、若手の中小企業経営者・後継者等による異業種交流グループ「いわて異業種交流討議会」、通称「いいこと」が結成されました。

「いいこと」では、本年7月の結成以来、外部講師を招いての講演会、メンバー相互の企業見学会、県外の異業種交流団体等との交流などを毎月1回開催しています。

いわて産業振興センターでは、今後も機会をみて、「いいこと」の活動状況についてご報告して参ります。



工場見学会 (9月、大船渡市)



キックオフ講演会 (7月、盛岡市)



愛知県豊明市の異業種交流団体との交流会 (11月)

(公財)いわて産業振興センター広報誌
産業情報いわて
2013年12月10日(毎月10日発行)

■発行/公益財団法人 いわて産業振興センター
〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)
TEL.019(631)3823
E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>
■編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。